

じゃっとじゃっと

苓北支援学校 人権教育ニュース

令和5年12月発行(年1回)

人権教育主任:古川

令和5年度の本校の人権教育目標は「本校の目指す児童生徒像「つよく・あかるく・なかよく」を基本に、自他共に大切に思う心や、個々に応じたコミュニケーション能力を発揮し、人と共によりよく生きるために必要な力を育む」です。本年度の人権教育の取組を御紹介します。



第1回なかよし集会「『なかよしルーレット』で仲良くなるう」

5月8日(月)、“児童生徒同士がかかわり合うこと”をねらい、「なかよしルーレット」を使ったゲームをしました。児童生徒は小学部、中学部、高等部の縦割りの3グループに分かれ、一人ずつ順番に「自分の好きなもの紹介」「みんなとタッチ」等のお題が書かれたルーレットを回します。ゲームを通して笑顔も生まれ、楽しい雰囲気の中で関わりを深めることができました。このゲームを通して、もっと友達と仲良くなるには、自分のことを伝えたり、友達とふれ合ったりすることが大切だということを確認することができました。



第2回なかよし集会「ともだちの『すてき』みつけたよ ~すてきクイズ~」

11月6日(月)は、“児童生徒がお互いの良いところを知り合うこと”をねらい、「すてきクイズ」に取り組みました。児童生徒の得意なことや頑張っていること等をヒントに「これは誰のすてきなところだろう?」「〇〇さんが頑張っているところ、見たことがあるね!」等と、友達の新たな一面やコツコツと取り組んでいる努力を知る機会となりました。



学部毎の人権学習や取組を紹介します。

【小学部の取組】特別活動 なかよしタイム 「人権の木『ダイス木』」

小学部では、自分のことも友達のことでも大切な存在であると感じることができるよう、一年を通して人権学習に取り組んでいます。1学期は、自分の好きなことを伝えたり、友達の好きなことを知ったりする学習、2学期は、お互いのいいところを伝える学習に取り組みました。作成したカードを友達に渡す場面では、友達に視線を向けたり、手を伸ばしたりする様子が見られました。カードは、廊下に掲示してある人権の木『ダイス木』に貼り、他学部の友達にも紹介しています。



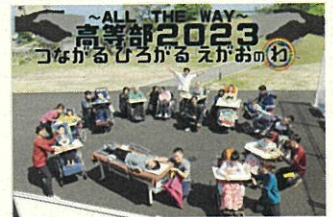
【中学部の取組】特別活動 「友達と『つながれーる』」



毎月キャリアパスポートで自分自身を振り返るとともに、友達の頑張り、いいところを認め合うために、「つながれーる」を作成しています。「朝の会 スイッチ上手」、「スクーリング いっしょで楽しかった」等、写真とコメントをはり、教室の入口に飾り、いつでもみんなが見られるようにしています。



【高等部の取組】学部スローガン 「つながる ひろがる えがおのわ」



今年度の高等部はスローガンを掲げ、学部一丸となって学習に取り組んでいます。学期ごとに「自分の良さ」「友達の良さ」「認め合い、思いやり」をテーマに、ゲーム等の活動を通して仲間を深めています。一人一人の学習の記録は高等部の人権パネルに輪を描くように貼られます。みんなの頑張りや笑顔が大きく一つにつながろうとしています。